

草花が芽吹き、小鳥のさえずりも賑やかになり、陽射しがまばゆくなる春、皆さまと株式会社アクロスをつなぐコミュニケーションマガジン「ACROSS LETTER 第37号」をお届けします。
今号は、進化するICTの活用について書かせていただきました。
次号は夏号(7月)の予定です。

最近の大規模修繕工事情

情報通信技術(ICT)を活用した建設工事の適正な施工を確保するための基本的な指針(ICT指針)について

建設業界全体の生産性を向上するために、国土交通省が公表しているICT指針について簡単にご紹介し、弊社での取り組みもご紹介します。

背景

「地域の守り手」である建設業において、担い手確保が喫緊の課題であり、建設業の持続可能な発展のため、**現場管理の効率化・生産性向上に資する建設業のICT化**が不可避の状況となっています。

概要

I 主なポイント

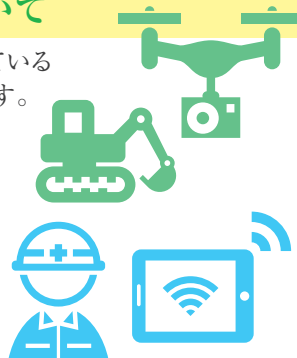
- ◆ 建設業者によるICTを活用した生産性向上策への積極的取り組み、ICTを活用した施工管理を担う人材育成が待ったなしの課題
- ◆ 特定建設業者はもちろん、その他の建設業者についても、経営規模等に応じたICT化への取り組みが不可欠
- ◆ 建設業のICT化の実現には、建設業者だけでなく、発注者・工事監理者・設計者等の理解が不可欠
- ◆ 建設業者間での共同での新技術の開発・研究の促進による、さらなる技術開発推進が必要
- ◆ 工事現場においてICTを活用しやすくなるよう、発注者も通信環境の整備について協力
- ◆ i-Construction2.0の推進も含めた建設業全体のICT化を推進し、省力化による生産性向上・建設業の魅力向上を実現

II バックオフィスにおけるICT活用に向けた取組

- ◆ 元請・下請問の書類等のやり取りの合理化
- ◆ CCUS、建退共電子申請方式、電子契約等の積極的活用

III 建設現場でのICT導入における留意点と事例

- ◆ 工種・工程・要求精度に見合った最適な機器の選定
- ◆ 下請業者等との連携・協働
- ◆ 事例:ドローン、ウェアラブルカメラ、3Dレーザースキャナなど



アクロスの取り組み

建設業のみならず設計業、大規模修繕工事の設計・監理に関しても、業務の効率化を目指しております。以前にも取り上げましたが、弊社も岡山等の中四国では、ウェアラブルカメラを使用し、大阪のベテラン工事監理者が現場の工事監理者とともにチェックを行うなど、品質管理に努めております。

また事前にご了承頂いた管理組合様には、重要事項説明をweb会議にて実施させて頂いております。実際、ご要望も増えてきておりますので、

今後も弊社はICT技術を積極的に取り入れ活用してまいります。

参照ページ：建設業におけるICTの導入・活用に向けた施策について
(ICT指針・ICT指針事例集・中小企業省力化投資補助金)



最近のアクロス事情

4月から社用携帯をスマホにすることとしました

企業が社用携帯にスマホを導入するメリット

ICTツールが発達し、在宅勤務やテレワークなど新しい働き方が広がりつつあります。これまで単に出先での連絡に使用するだけだった社用携帯の役割も変わり、チャットツールや業務用アプリケーションなどにスマホを使ってアクセスできるようになり、**社用スマホの導入は生産性に影響**します。

弊社も社内の**スケジュール管理にlineworksを使用**しており、スケジュールの管理のほかに、チャットにて各現場のプロジェクトチームで情報共有するために、例えば、管理員さんからヒアリングした内容を素早く共有したり、写真を撮って劣化している箇所の共有などを行なっております。

今までは、個人携帯もしくは社内のPCにて確認していたため、スマホを持っていない社員への情報共有スピードが遅くなっていたなどのデメリットを解消できるということでスマホの導入を検討し、実施することとなりました。

今後は情報共有スピードを上げ、さらに**皆様へ接客・接客の対応の面で還元**できるように努めてまいります。



参照ページ



あとがき

建築業界の課題である人手不足やアナログ作業を解消するために、ICT化が注目されています。弊社もICT化に関して、積極的に情報を取得し、取り入れられることは実施する予定です。その一例として、4月から会社携帯をスマホにすることとなりました。スマホのチャットアプリで情報共有スピードを上げていきたいと思っております。

ACROSS LETTER発行人 下門(雅士)

